

総合物流機能で 多様なニーズに対応し

当社は、お客様の荷物を「預かる」「運ぶ」だけでなく、AEO制度における認定通関事業者、特定保税承認者として迅速な輸出入サービスを提供するほか、産業や食、エネルギー等様々な分野の物流ニーズに包括的に対応し、お客様に最適な物流ソリューションをご提案します。

【AEO制度とは】 貨物のセキュリティ管理と法令遵守（コンプライアンス）の体制が整備された事業者に対し、税関が承認・認定し、税関手続の緩和・簡素化策を提供する制度です。2001年9月11日、米国で発生した同時多発テロ以降、国際物流においてはセキュリティの確保と円滑化の両立が不可欠となっています。

お客様の多様なニーズ



保管

普通倉庫（常温、低温、凍結）、危険物倉庫（1類、4類）、冷蔵・冷凍倉庫（自動倉庫、移動ラック）の他、穀物サイロやオイルタンクを保有し、多様な貨物に対応しています。また、AEO制度における「特定保税承認者」の承認を受けております。



荷役

プラント・重量物や冷凍貨物船、パナマックス、オイルタンカーなどの本船荷役をはじめ、倉庫荷役、コンテナ貨物の取り扱いなど多種多様な荷役形態に対応しています。



輸送

定期航路日本一の苫小牧港を中心に、北海道と全国各地を結ぶ国内フェリー輸送を手掛けています。また、トラック・ダンプ・タンクローリー・カーキャリアなどの各種輸送モードを完備し、細かなニーズにお応えします。



通関

AEO制度における「認定通関事業者」として、税関への輸出入申告や各種手続き、関税関係法令以外の関係省庁への貿易関係手続の代理・代行業務を行っています。

●大北運輸株式会社 苫小牧埠頭グループの輸送部門を担う会社として、トラクターヘッド74台や各種トラック277台を保有し、苫小牧、千歳、帯広、仙台を拠点に営業しております。

※HPは下記で修正済み
「トラクターヘッドや各種トラックの数を保有し、…」

事業を通じて最適な物流ソリューションを提案します



42

当社の普通営業倉庫 (1~3類)の棟数

当社の全事業所における普通営業倉庫(1~3類)の棟数は**42棟**。苫小牧地区では35棟を所有し棟数、収容面積ともに**シェア1位**となっています。貨物の特性に合わせて保管することができ、鋼材、木材、生活雑貨等の製品を保管する倉庫の他、庫内を13℃以下に設定して保管する低温倉庫、病害虫の駆除機能を有し、海外からの野菜や果物を保管できる低温燻蒸倉庫など、お客様のニーズに合わせた保管サービスを提供します。

港運事業部

多様な物資を取扱い、物流をトータルサポートします

施設概要

●普通倉庫

苫小牧	62,284㎡
千歳	4,113㎡
石狩	3,118㎡
仙台	4,152㎡

●低温倉庫

苫小牧	33,187㎡
石狩	5,560㎡
仙台	3,183㎡

保稅蔵置場(苫小牧地区) 103,484㎡

●低温燻蒸倉庫

苫小牧	4,626㎡
※植物防疫所指定燻蒸倉庫	
八戸	4,997㎡
※植物防疫所指定燻蒸倉庫	

●危険物倉庫

苫小牧	147㎡
-----	------

●吹上上屋・テント倉庫

苫小牧	27,047㎡
-----	---------

車両保有台数 (グループ全体)

- トラクターヘッド 71台
- 各種トラック 24台
(タンクローリー、ミルクローリー、キャリアカー他)



石狩ターミナル

- 繫船・荷揚積設備
〈プライベートバース〉
-7.5m×140m(6,000DWT対応)×2
-7.5m×140m(5,000DWT対応)×1
〈マリンローディングアーム〉
ガソリン・灯油・軽油・A重油
- 貯油施設
貯油槽 25基 206,840kℓ
※保税蔵置場19基
- ローリー出荷設備
10ステージ20車線
(ドラム缶専用1車線含む)
- 危険物倉庫
1棟 64㎡

「険」

最適なロケーションで 北海道の生活を支えます

札幌圏で使用される暖房用灯油は、道内需要の約6割にあたります。当社は、札幌から車で約1時間の苫小牧と札幌中心部から車で約30分の石狩にオイルターミナルを保有しています。冬期に道路事情が悪化しても、苫小牧又は石狩のどちらからでも灯油を確実に出荷することができ、多くの人々の生活を支えることに貢献しています。

豊富な知識と経験で 品質管理を徹底します

取り扱う石油製品は、冬期の北海道には欠かせない暖房用灯油のほか、ガソリン、軽油、重油、アンモニア、エチレングリコールなど10種以上にのびります。石油製品によって管理方法が異なるため、豊富な知識を持ったスタッフが目視検査、臭気検査に加え、機器を使用した引火点検査、水分検査を行い、品質管理に努めています。

防災とBCPIに万全を期しています

石油製品を取り扱う企業にとって、災害防止は最大の使命です。苫小牧ターミナルでは、周辺事業所と連携して共同防災隊を組織し、石狩ターミナルでは、当社単独で防災隊を組織しており、24時間の防災体制を整備しています。また、両ターミナルは非常用発電設備を有しており、災害による停電時においても物流機能が滞ることがない危機管理体制を構築しています。



苫小牧ターミナル

- 繫船・荷揚積設備
〈プライベートバース〉
-7.5m×130m(6,000DWT対応)×2
-5.5m×124m(2,000DWT対応)×1
〈ドルフィン〉
-7.0m×130m(5,000DWT ~~×1/5~~) ×2
〈マリンローディングアーム〉
ガソリン・灯油・軽油・A重油・プロパン・アンモニア
〈ホース〉
ジェット燃料・アスファルト・エチレングリコール
- 貯油施設
貯油槽 55基 299,245kℓ
LPGタンク 1基 950t
アンモニアタンク 2基 1,100t
アスファルトタンク1基 3,800t
※保税蔵置場49基
- ローリー出荷設備
12ステージ24車線
(他、アスファルト専用2車線・LPG専用3車線・アンモニア専用1車線)
- 危険物倉庫 2棟 873㎡
- 屋外貯蔵所 9カ所 1,458㎡

削除

「険」

※上記2ヶ所 HPは修正済

9

北海道の食産業の成長と 輸出拡大に貢献する 「次世代型冷蔵倉庫」

北海道クールロジスティクスプレイス
(温度管理型冷凍冷蔵倉庫)は、立地、多
温度対応、高付加価値化、鮮度維持等の

9つの特長

を有しています。
産地型と流通型が中心の道内物流を補
完する「港湾型」施設として新たな物流
モデルを構築し、お客様の多様なニーズ
にお応えします。

Cool Logistics Dept.



クールロジスティクス 事業部

北海道の食産業の成長と輸出拡大に貢献します

施設概要

北海道クールロジスティクスプレイス ※北海道HACCP認証取得

- 所在地 苫小牧市弁天1番45
- 規模 敷地面積28,441㎡ 建築面積4,144㎡ 延床面積14,738㎡
- 構造 鉄筋コンクリート造、地上5階建
- 収容能力 20,200t (うち冷蔵7,500t・冷凍7,700t・冷凍・冷蔵切替5,000t)
- 対応温度 冷蔵0~10°C、冷凍-38~-25°C、冷凍・冷蔵切替-25~10°C
- 省力化設備 自動温度制御、自動倉庫、移動ラック、IT活用等
- 省エネ・環境対策 外断熱工法、自然冷媒機器(二酸化炭素、アンモニアを使用)等
- BCP対策 耐震II類、津波避難場所機能、免震装置、非常用発電機等

※動物検疫所指定畜産物輸入検査場所

※保税蔵置場合計面積 16,810㎡

マイナを統一
する。

HPと同じ配置に移動

9つの特長をご紹介します

①「空」と「海」のWポートを活用できます

新千歳空港にも近く、空港と港湾の両方のポテンシャルを活用することができる苫小牧東港に立地し、低コストな海上輸送やスピーディーな航空輸送など食産業の多様化する物流ニーズにお応えします。

②多温度対応の大型複合施設です

−38℃～+10℃までに対応した多温度対応施設として農畜水産物の生鮮品から加工品まで幅広い需要にお応えします。

③CA貯蔵で付加価値を向上します

鮮度保持機能が極めて高いCA冷蔵庫で長期保管することにより、市場環境を踏まえながら最適なタイミングで出荷することで付加価値を上げることが可能となります。

※CA貯蔵⇒Controlled Atmosphere(空気成分調整) 空気中の酸素、窒素、二酸化炭素濃度を調整することにより、貯蔵される農産物の呼吸を最小限に抑制し鮮度の低下を抑える。



⑤立体自動倉庫で 小ロット多品種に対応します

1階から4階まで吹き抜けの立体自動倉庫は最大1,388パレット分の貨物を保管し、ITシステムで管理することで省力化を実現し、小ロット・多品種へ対応します。



⑥分散保管による 災害対応機能の強化

台風や地震等の物流網を寸断する災害に対しても、港湾における分散保管は強みを発揮します。更に、十分な耐震性能と非常用発電機を有し、港湾地域の津波避難場所としての機能も担い、港湾BCPの向上に貢献します。

⑦省エネ・環境対応を先導します。

外断熱、自然冷媒機器(二酸化炭素、アンモニア使用)を導入し最先端のハードとソフトを組み合わせた省エネ・環境配慮施設です。

⑧貨物のセキュリティとコンプライアンス 体制が整備された施設です

当施設は、特定保税承認者制度における届出保税蔵置場です。保税業務をはじめとする輸出入関連業務において、お客様に信頼されるサービスの提供に努めます。



⑨食の安全を徹底します

当施設は、倉庫業者として初めて「北海道HACCP自主衛生管理認証制度」を取得しました。食の安全に万全を期して、道産食品の安全性確保と信頼向上に努めます。



マイナスを統一

④急速凍結で品質を落とさず保管します

−38℃の急速凍結庫を利用することで、食品の水分が氷に変わるマイナス5℃からマイナス1℃の最大氷結晶生成温度帯を30分以内に通過することで食品細胞の破壊が少なくおいしさを保持することが可能です。



勇払冷蔵庫 ※北海道HACCP認証取得

- 所在地 苫小牧市勇払148番地20
- 収容能力 3,536t
- 対応温度 冷凍−25℃

勇払1号倉庫

- 収容能力 低温庫4,485㎡
常温庫1,495㎡
- 対応温度 低温庫10～15℃

HPと同じ配置に移動



会社概要

商号	苫小牧埠頭株式会社
本社	北海道苫小牧市入船町3丁目4番21号
設立	1960年(昭和35年)5月10日
代表者	代表取締役社長 海津 尚夫
資本金	8億7,612万円
主な事業内容	倉庫業／冷蔵倉庫業／港湾運送業／貨物自動車運送業／通関業／穀物サイロ事業(貯蔵・加工)／石油及び関連製品の貯蔵・輸送業
主な許認可事業	倉庫業(普通・冷蔵)／倉庫証券発行／一般港湾運送事業／港湾荷役事業(沿岸荷役事業)／港湾運送関連事業／一般貨物自動車運送事業／第一種貨物利用運送事業(貨物自動車運送、外航海運)／第二種貨物利用運送事業(内航海運、鉄道貨物運送)／海運代理店業／海運仲立業／通関業／保税蔵置場
従業員数	314名(2024年4月1日現在)

主要株主	株式会社日本政策投資銀行 王子ホールディングス株式会社 苫小牧市 苫小牧港開発株式会社 日本通運株式会社 ホクレン農業協同組合連合会 全国農業協同組合連合会
関係会社	北海道クールロジスティクスプレイス株式会社 大北運輸株式会社 苫埠資産管理株式会社 石狩地域振興開発株式会社
主な出資会社	苫小牧サイロ株式会社 苫小牧国際コンテナターミナル株式会社 株式会社ロードボス

「苫小牧共同港運倉庫株式会社」が消えています。
※HPは修正済み

沿革

1960年 5月	設立(5月10日)	1974年 8月	オイルターミナル事業営業開始(苫小牧)
1963年 9月	「一般港湾運送事業」「沿岸荷役事業」の免許取得	1975年 8月	備蓄用サイロ指定を受ける
1963年 10月	「倉庫業」の許可取得	1979年 2月	「第一種貨物利用運送事業(貨物自動車運送)」を登録
1963年 11月	営業開始	1991年 8月	八戸営業所(現 八戸支店)を開設
1964年 5月	「海運代理店業」「海運仲立業」「海上運送取扱業」の開始届出提出	1996年 10月	石狩オイルターミナルを開設
1966年 11月	「倉庫証券発行」の許可取得	2004年 10月	「冷蔵倉庫業」の許可取得
1967年 7月	政府米保管倉庫指定を受ける	2006年 3月	グリーン経営(トラック事業者用)認証取得
1969年 7月	「内航海運取扱業」の許可取得	2006年 4月	東北支店(現 仙台支店)を開設
1970年 9月	「通関業」の許可取得	2010年 5月	創立50周年を迎える
1970年 10月	「港湾運送関連事業」の開始届出提出	2012年 8月	「第一種貨物利用運送事業(外航海運)」を登録
1970年 11月	「一般貨物自動車運送事業」の免許取得	2015年 3月	本社移転
1970年 12月	穀物サイロ事業営業開始	2017年 5月	「認定通関業者」の認定を受ける
1971年 3月	自動車運送事業営業開始	2020年 5月	クールロジスティクス事業営業開始
1972年 7月	東京支店(現 東京営業部)を開設	2023年 5月	「特定保税承認者」の承認を受ける

事業所所在地

北海道

石狩
札幌
千歳
苫小牧
帯広

港運事業部 石狩支店

〒061-3241 北海道石狩市新港西2丁目744番2
TEL 0133-74-6161 FAX 0133-73-5558

オイルターミナル事業部石狩ターミナル

〒061-3242 北海道石狩市新港中央4丁目2番地2
TEL 0133-64-6161 FAX 0133-64-5252

港運事業部 千歳支店

〒066-0075 北海道千歳市北信濃849番地8
TEL 0123-22-6161 FAX 0123-22-8333

港運事業部 帯広支店

〒082-0004 北海道河西郡芽室町東芽室北1線12-12
TEL 0155-62-7171 FAX 0155-62-7070

八戸

港運事業部 八戸支店

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3番3号
TEL 0178-47-5811 FAX 0178-47-5951

仙台

港運事業部 仙台支店

〒983-0001 宮城県仙台市宮城野区港4丁目16番3号
TEL 022-387-2926 FAX 022-387-2941

東京

東京営業部

〒100-6031 東京都千代田区霞が関3丁目2番5号
霞が関ビルディング31階
TEL 03-3595-1171 FAX 03-3595-1178

本社

〒053-8511 北海道苫小牧市入船町3丁目4番21号
ハーバービル
TEL 0144-33-6161代 FAX 0144-33-3699代

港運事業部

〒053-0002 北海道苫小牧市晴海町43番地53
TEL 0144-57-6161代

飼料サイロ事業部

〒059-1372 北海道苫小牧市勇払145番地213
TEL 0144-56-2266代 FAX 0144-56-1889代

オイルターミナル事業部苫小牧ターミナル

〒059-1373 北海道苫小牧市真砂町18番地1
TEL 0144-56-1133 FAX 0144-56-1277

クールロジスティクス事業部

〒059-1371 北海道苫小牧市字弁天1番45
TEL 0145-26-8250代 FAX 0145-26-8301代





苦小牧埠頭株式会社



PR動画をご覧いただけます

<http://www.tomafu.co.jp>